

2020年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月13日

上場会社名 株式会社秋川牧園 上場取引所 東
 コード番号 1380 URL <http://www.akikawabokuen.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秋川 正
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 原田 良人 TEL 083-929-0630
 定時株主総会開催予定日 2020年6月23日 配当支払開始予定日 2020年6月24日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月24日
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	5,790	3.0	94	△4.1	121	△7.3	71	△46.9
2019年3月期	5,623	2.3	98	7.7	130	1.4	135	58.2

(注) 包括利益 2020年3月期 57百万円 (△59.7%) 2019年3月期 143百万円 (48.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	17.23	—	4.2	2.4	1.6
2019年3月期	32.42	—	8.3	2.6	1.8

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 -百万円 2019年3月期 -百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	5,082	1,733	34.1	415.56
2019年3月期	5,092	1,696	33.3	406.85

(参考) 自己資本 2020年3月期 1,732百万円 2019年3月期 1,696百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	480	△456	22	618
2019年3月期	473	△389	△136	572

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00	20	15.4	1.3
2020年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00	20	29.0	1.2
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00		20.8	

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,006	10.6	50	—	51	—	25	—	6.19
通期	6,070	4.8	148	57.5	150	23.8	100	39.2	23.99

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	4,179,000株	2019年3月期	4,179,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期	9,877株	2019年3月期	9,877株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	4,169,123株	2019年3月期	4,169,140株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	5,751	2.6	117	3.8	123	9.9	77	△40.6
2019年3月期	5,608	3.2	113	46.0	112	41.8	129	138.1

	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	
	円	銭	円	銭
2020年3月期	18.47	—	—	—
2019年3月期	31.09	—	—	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
2020年3月期	4,415		1,615		36.6	387.55		
2019年3月期	4,399		1,574		35.8	377.59		

(参考) 自己資本 2020年3月期 1,615百万円 2019年3月期 1,574百万円

2. 2021年3月期の個別業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	2,996	10.5	62	—	40	—	9.67	
通期	6,050	5.2	155	25.1	113	47.1	27.17	

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(表示方法の変更)	10
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2019年4月1日～2020年3月31日)におけるわが国の経済は、緩やかな回復基調で推移しておりますが、消費税増税後の個人消費の低迷に加え、2020年に入ってから新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大を受け、足元の景気は急激に落ち込み、先行きについても非常に厳しい状況になっております。

このような状況の中、鶏肉・冷凍加工食品及び直販事業の販売が下半期以降好調に推移し、さらに2020年3月からの新型コロナウイルスの影響に伴う需要の高まりにより、売上高は増加いたしました。利益面につきましては、直販事業の損益改善や生産子会社における鶏卵の生産成績の改善等の増益要因がありましたが、鶏肉パックセンター及び冷凍食品工場の製造コストの増加や、間接部門の販売費及び一般管理費の増加等により減益となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は、57億90百万円(前年同期比3.0%増)、営業利益は94百万円(前年同期比4.1%減)、経常利益は1億21百万円(前年同期比7.3%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は71百万円(前年同期比46.9%減)となりました。(なお、親会社株主に帰属する当期純利益について、前連結会計年度は個別における繰延税金資産の増加要因により大幅な増益となっており、その反動から当連結会計年度の減少率が大きくなっております。)

セグメントの業績は次のとおりであります。

(生産卸売事業)

生産卸売事業につきましては、主力の鶏肉及び冷凍加工食品を中心に販売が増加したことから、売上高は増加いたしました。利益面につきましては、生産子会社における鶏卵の生産成績の改善等があったものの、鶏肉パックセンター及び冷凍食品工場の製造コストの増加等により減益となりました。

この結果、生産卸売事業の売上高は、47億30百万円(前年同期比3.0%増)、営業利益は3億82百万円(前年同期比4.6%減)となりました。

(直販事業)

当社の食を中心とした安心・安全な食品を個人の消費者に直接お届けする直販事業につきましては、宅急便でお届けする全国向けの販売が引き続き増加したことにより、売上高は増加いたしました。利益面につきましては、粗利率の改善効果とカタログ費や荷造包装費等の販売費及び一般管理費の減少により増益となりました。

この結果、直販事業の売上高は、10億59百万円(前年同期比2.8%増)、営業利益は30百万円(前年同期は3百万円の損失)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の総資産は、前年同期に比べ10百万円減少して50億82百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加(46百万円)、売掛金の増加(62百万円)及び、商品及び製品の減少(41百万円)、仕掛品の減少(69百万円)、原材料及び貯蔵品の減少(10百万円)等によるものです。

(負債)

負債につきましては、前年同期に比べ47百万円減少して33億48百万円となりました。これは主に長期借入金の増加(46百万円)、流動負債その他の減少(95百万円)等によるものです。

(純資産)

純資産につきましては、前年同期に比べ36百万円増加して17億33百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加(50百万円)によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、税金等調整前当期純利益が1億16百万円(前連結会計年度は1億31百万円の純利益)となり、減価償却費(3億69百万円)、長期借入れによる収入(4億30百万円)、たな卸資産の減少額(1億23百万円)等から、有形固定資産の取得による支出(4億58百万円)、長期借入金の返済による支出(3億81百万円)、売上債権の増加額(62百万円)等を控除した結果、前連結会計年度末に比べ、46百万円増加し、6億18百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は4億80百万円(前連結会計年度は4億73百万円の獲得)となりました。

これは主として、税金等調整前当期純利益(1億16百万円)、減価償却費(3億69百万円)、たな卸資産の減少額(1億23百万円)等から、売上債権の増加額(62百万円)、仕入債務の減少額(10百万円)、法人税等の支払額(51百万円)等を控除した結果によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は4億56百万円(前連結会計年度は3億89百万円の使用)となりました。

これは主として、有形固定資産の売却による収入(18百万円)等から、有形固定資産の取得による支出(4億58百万円)等を控除した結果によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は22百万円(前連結会計年度は1億36百万円の使用)となりました。

これは主として、長期借入れによる収入(4億30百万円)等から、長期借入金の返済による支出(3億81百万円)等を控除した結果によるものであります。

(4) 今後の見通し

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大は、グローバル化が進んだ現代社会がこれまで経験したことのない、深刻な危機をもたらしています。感染リスクを回避していくため、人々の生活スタイルには大きな変化が生じており、食の市場においては外食から内食へのシフトが起きています。その影響もあり、直近においては当社グループの食に対する需要は増加傾向にあります。

そのような情勢の中、当社グループでは、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う、防疫面やサプライチェーン面など様々なリスクに対処し、安定的な事業活動を確保していくことが、当面の最重要課題であると認識しております。

また、2018年4月からスタートした中期計画では、秋川牧園ブランドを強化し、秋川牧園の食をより多くの方に、より継続的に食べていただくために、4つの基本戦略を柱に様々な課題に取り組んでおります。

(4つの基本戦略)

- ①知名度と「らしさ」を上げるコミュニケーション戦略
- ②家族の笑顔を増やす商品戦略
- ③健康・安全な食を拡げるための販売戦略
- ④毎日がチャレンジ! 人・組織戦略

次期におきましても、新型コロナウイルスという大きな環境変化に柔軟に対応しつつ、秋川牧園ブランドの強化に向けて、引き続きアクションを進めてまいります。

以上の状況を勘案し、次期の業績の見通しとしましては、売上高60億70百万円(当連結会計年度比4.8%増)、経常利益1億50百万円(当連結会計年度比23.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益1億円(当連結会計年度比39.2%増)を見込んでおります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、株主の皆様への利益還元を重視し、かつ、秋川牧園ブランドの確立と中長期的な成長に向けての積極的な投資と堅実な財務体質を両立することを基本方針としております。

当期(2020年3月期)につきましては、上記の方針を踏まえ、1株5円の配当とさせていただきます。また、次期(2021年3月期)につきましては、上記の方針を踏まえ、1株5円の配当を継続させていただきます。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	572,569	618,608
受取手形及び売掛金	666,227	728,937
商品及び製品	203,812	161,995
仕掛品	388,533	318,976
原材料及び貯蔵品	86,216	75,900
未収入金	124,649	120,437
その他	25,170	24,326
貸倒引当金	△2,656	△4,085
流動資産合計	2,064,522	2,045,096
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,531,759	2,598,070
減価償却累計額	△1,464,945	△1,546,537
建物及び構築物(純額)	1,066,814	1,051,533
機械装置及び運搬具	1,702,987	1,769,433
減価償却累計額	△1,179,681	△1,229,053
機械装置及び運搬具(純額)	523,305	540,380
土地	1,019,456	1,029,598
建設仮勘定	30,353	30,984
その他	333,694	340,159
減価償却累計額	△230,334	△230,836
その他(純額)	103,359	109,322
有形固定資産合計	2,743,288	2,761,819
無形固定資産		
のれん	23,410	19,761
その他	29,112	28,830
無形固定資産合計	52,522	48,592
投資その他の資産		
投資有価証券	120,672	99,621
長期貸付金	6,851	11,160
繰延税金資産	79,264	93,497
その他	26,158	22,971
貸倒引当金	△292	△394
投資その他の資産合計	232,654	226,855
固定資産合計	3,028,465	3,037,267
資産合計	5,092,988	5,082,363

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	400,593	390,567
短期借入金	1,046,258	1,048,378
リース債務	5,633	5,420
未払法人税等	42,888	36,009
賞与引当金	34,755	36,892
その他	391,172	295,663
流動負債合計	1,921,301	1,812,932
固定負債		
長期借入金	1,150,179	1,196,795
リース債務	23,895	18,011
繰延税金負債	7,612	7,683
退職給付に係る負債	235,648	252,589
役員退職慰労引当金	57,869	60,974
固定負債合計	1,475,204	1,536,054
負債合計	3,396,505	3,348,987
純資産の部		
株主資本		
資本金	714,150	714,150
資本剰余金	553,441	553,441
利益剰余金	389,272	440,261
自己株式	△5,880	△5,880
株主資本合計	1,650,983	1,701,972
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45,205	30,562
その他の包括利益累計額合計	45,205	30,562
非支配株主持分	293	842
純資産合計	1,696,482	1,733,376
負債純資産合計	5,092,988	5,082,363

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	5,623,299	5,790,005
売上原価	4,238,248	4,380,766
売上総利益	1,385,051	1,409,239
販売費及び一般管理費	1,286,553	1,314,792
営業利益	98,497	94,446
営業外収益		
受取利息	141	234
受取配当金	1,135	1,182
受取保険金	1,381	3,997
補填金収入	27,259	15,483
補助金収入	6,791	8,542
その他	8,372	10,258
営業外収益合計	45,082	39,699
営業外費用		
支払利息	12,815	12,446
その他	13	505
営業外費用合計	12,829	12,952
経常利益	130,751	121,193
特別利益		
固定資産売却益	2,637	1,874
補助金収入	47,000	17,620
特別利益合計	49,637	19,494
特別損失		
固定資産売却損	375	669
固定資産除却損	1,517	5,645
減損損失	186	373
固定資産圧縮損	47,000	17,620
特別損失合計	49,079	24,307
税金等調整前当期純利益	131,309	116,379
法人税、住民税及び事業税	49,293	51,733
法人税等調整額	△53,356	△7,736
法人税等合計	△4,062	43,997
当期純利益	135,372	72,382
非支配株主に帰属する当期純利益	213	548
親会社株主に帰属する当期純利益	135,159	71,834

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	135,372	72,382
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,042	△14,642
その他の包括利益合計	8,042	△14,642
包括利益	143,414	57,739
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	143,201	57,191
非支配株主に係る包括利益	213	548

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2018年4月1日 至2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価 証券評価差 額金	その他の包 括利益累計 額合計		
当期首残高	714,150	553,441	274,959	△5,839	1,536,711	37,162	37,162	80	1,573,955
当期変動額									
剰余金の配当			△20,845		△20,845				△20,845
親会社株主に帰属する 当期純利益			135,159		135,159				135,159
自己株式の取得				△41	△41				△41
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						8,042	8,042	213	8,255
当期変動額合計	—	—	114,313	△41	114,271	8,042	8,042	213	122,526
当期末残高	714,150	553,441	389,272	△5,880	1,650,983	45,205	45,205	293	1,696,482

当連結会計年度(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価 証券評価差 額金	その他の包 括利益累計 額合計		
当期首残高	714,150	553,441	389,272	△5,880	1,650,983	45,205	45,205	293	1,696,482
当期変動額									
剰余金の配当			△20,845		△20,845				△20,845
親会社株主に帰属する 当期純利益			71,834		71,834				71,834
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						△14,642	△14,642	548	△14,094
当期変動額合計	—	—	50,988	—	50,988	△14,642	△14,642	548	36,894
当期末残高	714,150	553,441	440,261	△5,880	1,701,972	30,562	30,562	842	1,733,376

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	131,309	116,379
減価償却費	371,660	369,381
減損損失	186	373
のれん償却額	3,648	3,648
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,163	1,531
賞与引当金の増減額(△は減少)	△396	2,136
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,513	3,105
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△3,491	16,941
受取利息及び受取配当金	△1,276	△1,417
支払利息	12,815	12,446
固定資産売却損益(△は益)	△2,262	△1,205
固定資産除却損	1,517	5,645
固定資産圧縮損	47,000	17,620
売上債権の増減額(△は増加)	△19,466	△62,804
たな卸資産の増減額(△は増加)	△70,259	123,737
未収入金の増減額(△は増加)	10,744	4,212
仕入債務の増減額(△は減少)	△54,283	△10,025
補助金収入	△47,000	△17,620
その他	88,719	△58,541
小計	473,841	525,545
利息及び配当金の受取額	1,276	1,417
利息の支払額	△12,794	△12,656
補助金の受取額	47,000	17,620
法人税等の支払額	△35,357	△51,597
営業活動によるキャッシュ・フロー	473,966	480,329
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△395,019	△458,478
有形固定資産の売却による収入	5,286	18,720
投資有価証券の取得による支出	△17	△17
貸付けによる支出	△150	△8,600
貸付金の回収による収入	2,661	2,051
ソフトウェアの取得による支出	△2,688	△7,443
その他	308	△2,528
投資活動によるキャッシュ・フロー	△389,619	△456,295
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	234,000	430,000
長期借入金の返済による支出	△343,599	△381,264
配当金の支払額	△20,695	△20,633
自己株式の取得による支出	△41	—
リース債務の返済による支出	△5,923	△6,096
財務活動によるキャッシュ・フロー	△136,260	22,006
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△51,912	46,039
現金及び現金同等物の期首残高	624,482	572,569
現金及び現金同等物の期末残高	572,569	618,608

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方針の変更)

(連結損益計算書)

前連結会計年度において、「営業外収益」の「その他」に含めていた「受取保険金」は、営業外収益の総額の100分の10を超えたため、当連結会計年度より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外収益」の「その他」に表示していた9,754千円は、「受取保険金」1,381千円、「その他」8,372千円として組み替えております。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業グループごとに取り扱う製品・サービス別のセグメントについて、包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、事業グループごとに取り扱う製品・サービス別のセグメントから構成されており、「生産卸売事業」と「直販事業」の2つを報告セグメントとしております。

「生産卸売事業」は、主に産直型の生活協同組合や宅配会社向けに、鶏肉、冷凍加工食品、鶏卵および牛乳等の生産・販売をしております。「直販事業」は、当社の食品を中心とした食品と生活雑貨を会員向けに販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益（のれん償却前）ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は各セグメントにおける製造原価の状況を勘案し、双方協議に基づいて取引を行っております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自2018年4月1日 至2019年3月31日）

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	生産卸売	直販	
売上高			
外部顧客への売上高	4,592,923	1,030,376	5,623,299
セグメント間の内部売上高 又は振替高	322,065	5,885	327,951
計	4,914,988	1,036,262	5,951,250
セグメント利益又は損失 (△)	400,744	△3,301	397,442
セグメント資産	4,180,971	162,631	4,343,602
その他の項目			
減価償却費	337,439	16,628	354,067
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	352,838	19,984	372,822

当連結会計年度(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	生産卸売	直販	
売上高			
外部顧客への売上高	4,730,487	1,059,517	5,790,005
セグメント間の内部売上高 又は振替高	337,772	6,270	344,042
計	5,068,259	1,065,788	6,134,047
セグメント利益	382,313	30,470	412,784
セグメント資産	4,176,026	168,884	4,344,911
その他の項目			
減価償却費	338,509	11,398	349,908
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	382,946	8,643	391,589

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	5,951,250	6,134,047
セグメント間取引消去	△327,951	△344,042
連結財務諸表の売上高	5,623,299	5,790,005

(単位:千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	397,442	412,784
のれんの償却額	△3,648	△3,648
全社費用(注)	△295,296	△314,689
連結財務諸表の営業利益	98,497	94,446

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び品質管理費用であります。

(単位:千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	4,343,602	4,344,911
全社資産(注)	749,385	737,451
連結財務諸表の資産合計	5,092,988	5,082,363

(注) 全社資産は、主に当社グループにおける余資運用資金(現金及び預金他)、長期投資資金(投資有価証券他)及び管理部門に係る資産等であります。

(単位:千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計 年度	当連結会計 年度	前連結会計 年度	当連結会計 年度	前連結会計 年度	当連結会計 年度
減価償却費	354,067	349,908	17,592	19,473	371,660	369,381
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	372,822	391,589	11,477	21,622	384,300	413,212

(注) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、各セグメントに属さない本社の車両運搬具及びソフトウェア等の設備投資額であります。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	406.85円	415.56円
1株当たり当期純利益	32.42円	17.23円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	135,159	71,834
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期 純利益(千円)	135,159	71,834
期中平均株式数(千株)	4,169	4,169

(重要な後発事象)

該当事項はありません。